

和歌山病院

16年連続基準クリアへ

地域医療支援病院承認要件

美浜町の独立行政法で24日、同病院地域医療支援病院承認要件に関する紹介率、逆紹介率とともに基準をクリアしていることが報告された。



救急患者の受け入れ等でも意見交換

地域医療支援病院の承認を受けると、病院側は一部診療報酬の加算が得られ、医療収入が増える等のメリットがある。承認のためには、紹介率（初診患者全体に占める地域の診療所からの紹介患者）と逆紹介率（紹介患者を治療後に地域の診療所に紹介する割合）が基準を超えていることが条件となる。

本年度は10月以降、循環器内科の閉鎖に伴い、患者数が減少して

いるものの、4月から地域医療支援病院の承認要件を満たす見通しと介率は55・1%で50%になっている。委員会は和歌山病院の基準をクリア。逆紹介率は117・1%の医師、看護師のほかに、日高医師会の池田明彦会長、国保日高総務部長、16年連続で地合病院の東克彦院長、和歌山高専の堀江振一郎校長、美浜町の森下誠史町長らがメンバー。救急患者の受け入れ、院外医療従事者を対象とした研修会などについて疑問や要望も出された。